



まちづくり フォーラム

9月14日、高浜市いきいき広場 いきいきホールにて開催。「住んでいるまちへの想い」「活動の楽しさ・やりがい」「みんなで力を合わせてより良い高浜市を築いていくためにはどんなことが必要？」などなど、満席の会場の中で約180人の皆さんとともに語り合いました。

高浜市のまちづくりの「これまで」を振り返り、「いま」を知ろう!

「自分たちのまち是自己たちでつくる」という“市民が主役のまちづくり”を進めて約10年。事例発表を交え、これまでのまちづくりのあゆみ、成果・課題などを振り返りました。

行政より



これまでのあゆみから感じたことは、「小さなまち高浜市」だからこそその市民同士、市民と行政の距離の近さが強みということ。一人ひとりが少しずつ力を持ち寄って動き出せば、まちが変わっていきます。私たちも皆さんとともに汗を流していきますので、いっしょに頑張りましょう!

吉浜まちづくり協議会 活動事例発表



▲吉浜まち協伝統文化グループリーダーも熱弁

子どもと作る「子ども菊人形」の今年のテーマは、「ごんぎつね」と「かぐや姫」。子どもたちの“こうしたい!”を大切にしている。この思い出が、大人になったとき、地域への愛着、伝統文化の継承につながることを願っています。

高齢者には
いきがいを!
子どもたち
には未来を!

家庭には
笑顔を!

地域には
絆を!

▲吉浜まちづくり協議会 活動事例発表
(都築史良理事長、鈴木啓悟事務局長)

みんなで力を合わせてまちづくりをするために、めざす方向を共有することが大切。そこで、私たちは理念を掲げました。新たな仲間の輪の拡大はどれも課題。活動分野を広くして、参加できる間口を広げることで、まずは参加してもらうことから始まると思っています。

展示コーナー

ロビーでは、市内でさまざま活動を行っている団体の活動紹介パネルや、事例発表を行った吉浜地区の伝統ある細工人形を展示しました。



▲今年度リニューアル吉浜細工人形「吉浜音頭」

ベテランの人形師から制作技術を教わりながら、若手が頑張りました!吉浜らしく、菊の模様をあしらった浴衣を着てるんですよ。

いろいろな団体が地域のために、子どもたちやみんなのために活動しているんだね。

18団体のパネルを展示▶



他の団体や地域では、どんな活動をしているのか、普段わからないから、こういう機会にお互いのことを知ることができると、自分たちの活動の参考にもなっているね。



平成26年度「市民予算枠事業」提案に向けて

地域の「どうしよう?」を解決し、「やりたい!」を応援する「市民予算枠事業」の制度概要を説明しました。

詳しくは、5ページをご覧ください。